

学習で積み重ねた力を発揮する～学習発表会、現場実習

副校長 田中 裕司

11月29日、30日の二日間にわたり、学習発表会を行いました。本年度は、実に6年ぶりに制限を設けず、一般の方にも広く入場いただけるかたちで実施しましたが、保護者、福祉園職員の皆様をはじめ、教育・福祉関係の皆様、地域の皆様に、御来場いただくことができました。改めて感謝申し上げます。

舞台発表や作業製品販売、展示活動の中で、児童・生徒の生き生きとした姿と、この一年間の学習活動で取り組んできたことを大勢の方に見ていただけたことは、一人一人の成長にとっても大きな節目になっています。子供たちが自分の役割を意識し、それぞれの目標達成に向けて精一杯取り組むことができるためには、日常の学習活動一つ一つの積み重ねが土台になります。例えば、小学部の国語・算数の授業で、教員が示したカードのものと同じものを選ぶ活動を繰り返し行ってきた児童は、学習発表会当日の舞台発表では、ボードに示されたものを一人で選び、運ぶという活動につながっています。作業製品販売の焼き菓子も、毎週繰り返し取り組むことで、生徒一人一人が製造に係る知識と技術を高め、お客様に販売できるまでに至っています。学習発表会は、これまで取り組んできたこと、努力してきたことが、たくさんの人に評価されることを通じて、子供たちは自信をもち、新しいことに向かう意欲にもつながる機会になっています。

高等部では、11月20日に現場実習報告会が行われました。2年生、3年生の生徒一人一人が、実習先や仕事内容、そこで学んだことなどを全高等部生徒の前で発表します。当日は実習前に比べ、自信にあふれた表情の生徒もたくさん見受けられました。実習先での生活は、学校生活とは異なることも多く、一つ一つ体験を通して覚えることが必要です。その時に大切なのは、新しいことにも進んで取り組もうとする意欲と、挨拶等を通じて周りの人とコミュニケーションをとろうとする気持ちです。これは、小学部のころから丁寧に取り組んでこなければ、なかなか発揮できないものです。また、実習先までの通勤についても、学校と家庭とが連携してこれまでの一人通学への取組を行うことで、初めて実践の場で活用できる力となります。今、学校や家庭で取り組んでいることが、半年後、1年後、そして卒業後の生活にどうつながるのか、具体的なイメージをもって日々の生活を送っていきましょう。

これから、本格的に寒い季節となります。この冬は様々な感染症の流行が懸念されるとも聞きます。家庭、学校双方での体調の確認と早めの対処を心掛け、よい一年のまとめとして参りましょう。

高等部作業学習について紹介します。

主幹教諭 外川卓

<6つの作業班>

1年生から3年生まで縦割りの編成で活動します。

火曜日の1日(全学年)と木曜日の午前(2、3年普通学級)に活動しています。

流通サービス班(事務・喫茶) / ビルメンテナンス班(清掃) / 食品加工班(製菓)
農園芸班(花栽培、加工) / リサイクル班(紙加工) / クラフト班(縫工)

<3つの「働く力」>

全作業班共通して、働くための力の育成の視点で学習に取り組みます。

- 1 態度「時間の意識」、「意欲」、「責任感」、「集中力」
- 2 コミュニケーション「挨拶・返事」、「報告・連絡・相談」、「気持ちの安定」、「協調性」
- 3 知識・技能「体力(持続力)」、「指示理解」、「計画性」、「準備・片付け」

<外部専門員>

今年度は、授業アドバイザー5名を活用して、教員の専門性の向上や製品の質の向上を図っています。

(下記: 授業アドバイザーの内容と所属)

作業全般(三楽病院サンライトサポート室) / 裁縫(服とこぎん刺し nicokaco)
清掃(東京ビルメンテナンス協会) / 園芸(東電ハミングワーク園芸事業部)
製菓(社会福祉法人 SHIP パン工房ボンシュシュ)